≪ ウィメンズマラソンボランティア ≫

32 期 石塚 日利

今年もコロナ禍の中、3月13日(日曜日)ウィメンズマラソンのボランティア活動が出来るのか心配されましたが、何とか参加人数は減ったものの無事終えることが出来ました。

当日は天気にも恵まれ3月にしては日差しが眩しく、少し汗ばむほどでした。

今回、中村鯱城会の面々は 20km での給水担当を任 され、最初は皆、口々に「楽勝」と言っていたもの

の選手が団体で迫りくるのを目の当たりして、その考えの甘さを痛感させられていました。





皆、手分けをし、紙コップを並べる人、水を注ぐ人と手の休まる間もなく、最後まで休憩も食事もとれない状況でしたが責任を果たすことが出来ました。しかし、終わってみると皆、マラソンは余り見ておらず、テーブルと紙コップ、水を注ぐ手元ばかり見て、最後に走り去る選手の後ろ姿を拍手をしながら見送っただけでしたが、振り返って仲間の顔を見てみると笑顔があふれており、とても素敵な1日となりました。







<参加> 古橋輝彦 星野憲次 石塚日利 内山幸夫 岡本多恵子 大岸泰子 高坂英夫 佐野正子 柴田安晧 住田 修 杉田清彦 滝紀久代 前田秋由 松本博子 政次久江 水谷佳子 持田悦憲 和栗保雄 森島延夫 小池直美 20名参加



≪ 活動の様子 ≫













今回はいつものコース整理と違い、マラソンランナーへ給水活動での参加でした。20km給水地点での2つのテーブル担当、2班に分かれての作業でした。いつもと違い忙しく大変でしたが、ランナーからありがとうの言葉をもらい、我々もランナーに頑張ってと小さな声で声がけし、参加しているという実感がわき楽しめた活動でした。活動後各グループで少し遅い昼食会を楽しみ散会しました。



≪ 参加の皆さん ≫







≪ 担当場所 ≫







≪ 事前準備作業 ≫



